

# 岐腎協事務局だより

岐腎協は 2021 年設立 50 年を迎えました。

岐腎協 50 周年記念大会を 2022 年 6 月 12 日（日曜日）

開催を予定しています。多数参加をお願いします。

詳しくは、清流 77 号で確認ください。

2022 年 2 月 NO.96 号

## 令和 4 年度 腎疾患対策予算案の概要

（令和 4 年度予算案：2 億円（令和 3 年度予算額：1.9 億円）

### 基本的な考え方

平成 30 年 7 月にとりまとめられた腎疾患対策検討会報告書に基づき、新規人工透析導入患者の制御を図る事で慢性腎臓病対策を推進する。

#### 1.腎疾患対策費・・・3百万円（3百万）

①腎疾患対策検討会報告書に基づく腎疾患対策推進に関する情報提供等

#### 2.慢性腎臓病（CKD）特別対策事業・・・0.3 億円（0.3 億円）

①患者等一般向けの講演会等の開催

②病院や診療所等の医療関係者を対象とした研修の実施

③CKD 診療に関わる医療機関情報の収集と提供

④事業実施の評価 等

#### 3.慢性腎臓病（CKD）診療連携構築モデル事業・・・0.2 億円（0.2 億円）

①保険者や地方公共団体（都道府県、市町村）と、医療従事者が連携した会議体による病診連携の推進

②腎疾患対策報告書に基づいた、地域に応じた腎疾患対策の立案と実施

③評価指標による対策の進捗管理と評価結果に基づくフィードバックの実施

④報告会の実施 等

#### 4.厚生労働科学研究費等補助金 等・・・1.4 億円（1.4 億円）

（厚生科学課計上）

①診療連携を視野にいた、CKD の診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究

②災害時の透析医療確保に資する研究

③腎臓をターゲットとした診断法・治療法の研究開発 等

※がん・疾病対策課計上の主な事業を記載。

※予算額は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

健康まっぷ

『予防には換気が大切』・・・エアロゾル感染とは

新型コロナウイルスの感染経路で、飛沫感染にくわえエアロゾル感染の危険が注目されはじめた。

以前からその危険を指摘していた公衆衛生医の岩室紳也さんは「ウイルスがどこからどこへ、どうやってうつるか、その場の状況に合わせて細かく考えて」と訴えている。

大量のウイルスを含む飛沫は重さですぐ落ちる。一方、見えないほど小さいエアロゾルには数個のウイルスしか入っていないが長く空中を漂う。対策はおのずと異なる。

飛沫はまっすぐ飛ぶので、顔を背けて話せば大丈夫。向き合っても、少し離れれば感染の危険がある顔にかかることはまずない。ただ、相手が背の低い子供なら顔にかかる恐れがあるので注意を。飛沫が激しく飛ぶくしゃみには、肘を口に当てる「せきエチケット」がやはり有効だ。

エアロゾル対策の鍵は換気。扇風機などで窓や換気扇などに向けた空気の流れを作る工夫。ただ窓や空気清浄機の吸気口のそばでは、「ウイルスを濃縮下空気を浴びる危険に留意して」。

飲食店などのアクリル板も、大きすぎる空気の流れを妨げてしまう。岩室さんは「マスクをすると口の中が温まって吐き出すエアロゾルが増えることも知っておいて」と注意を喚起する。

「感染予防に『これさえすれば大丈夫』という魔法の対策はない。状況に合わせたリスク低減策を積み重ね、感染経路を絶つしかない」と岩室さんは話している。

(2022年1月31日岐阜新聞より抜粋)

ウイルス 0.1 μm / エアロゾル (長期漂う) 0.5 μm / 飛沫すぐ落下 5 μm以上

(ウイルスとエアロゾルと飛沫の関係) …※岩室紳也先生医師の資料より

日本透析医会 HP より

先週に比べて約倍増してちょっと驚いたので、全人口における透析患者の割合と比べてみることにした。(2022年1月28日～2月3日)

日本の人口は1億2544万人で、透析患者の数は347,671人であるから、全人口に占める透析患者の割合は、

$$347,671 \div 125,440,000 \times 100 = 0.277\%$$

1週間のコロナ陽性患者の数は597,726人だから、1週間の透析患者コロナ陽性患者の数は325人占める透析患者の割合は、

$$325 \div 597,726 \times 100 = 0.054\% \text{ となる。}$$

$0.277 \div 0.054 = 5.09$  だから人口比で考えると、今の透析患者のコロナ陽性患者は1/5であることが分かる。

さらに、全人口の平均年齢は47.4歳で透析患者の平均年齢が69.4歳なので、平均年齢の高い透析患者の方がより感染しやすいはずだけど、それが少ないということは、それなりに気を付けているということかな。

### 岐腎協 50周年記念大会『患者の訴え』募集

あなたが透析導入となって感じたことを大会でお話してください！

【原稿用紙400字】1枚～2枚でお願いします。

【募集期間】2022年2月～2022年4月15日

下記の住所・FAX・メールへ原稿を送って下さい。

応募者多数の場合は、  
50周年実行委員会に  
より決定いたします。

特定非営利活動法人 岐阜県腎臓病協議会

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉農業会館 3階

TEL 058-214-2497 FAX 058-214-2498 E-mail [npo@gijinkyo.jp](mailto:npo@gijinkyo.jp)



作成者：事務局長 高田 裕二